

平成17年10月12日

淀川水系流域委員会 様

川上ダム建設促進について

川上ダム建設については、貴委員会にて議論されているところではありますが、近年、アメリカにおけるハリケーンの被害、日本各地における台風被害を聞くにつれ、もはや過去数十年無事であったから今後も大丈夫というような考えで今後を予測することは出来ないと思います。地元住民の生活を守るため、川上ダム建設と遊水地の確保、河川の改修を組み合わせた洪水対策は必須のものとして理解しております。また、利水面でも伊賀地域には未だ未給水区域が存在し、生活用水、防火用水の確保に不安感を持つ住民にとって川上ダム建設への期待が大きいことも理解していただきたいと思えます。

環境問題を否定するものではありません。しかし、自分の実生活にかかわりのない方々の反対のための反対意見もあるように見受けられます。過去数十年に亘り、ダム建設に協力してきた人々の立場にたって考えていただきたい。個々に災害から自分を、家族を、自分達の財産をまもる術のない弱い住民の立場を考えていただきたいと思えます。

速やかに、「ダム建設促進」に向けての意見の集約をお願いします。「環境」と「ダム」のいずれをとるかといった議論ではなく、その相互の調和を図る議論をお願いします。

伊賀市.

嶋澤正彦